

場 所：こやのさと幼稚園

日 時：平成30年6月25日（月）10時00分～11時50分

参加者：18名（就学前児童保護者10名、その他8名）

質疑等：

質問1 南西部こども園の規模を教えてください。運動場の1人あたり面積は十分なのか。今のささはら幼稚園と比較してどうか。

回答1 南西部こども園は既存の敷地を使って建設するので、園庭が広がることはありません。2歳児以上の人数により園庭面積の基準があり、定員265名の南西部こども園では必要面積が860㎡です。1人あたり3.64㎡です。

質問2 南西部こども園の定員265名だと、運動場で思いっきり遊べないのではないか。

回答2 設計段階で現場の先生の見解も取り入れ、十分に子どもが体を動かせるように検討します。現在のささはら幼稚園の園庭は40名程度でしか使用していません。こども園に建替え園児数が増えることがマイナスとは考えておらず、幼児教育の充実のためには園児数が増えるようにしていく必要があります。

質問3 南西部こども園で265人入れると思っているのか。入園した結果、狭かったということにならないのか。

回答3 基準に基づき建設するため、265人全員を受け入れて、やっぱり狭かったということにはなりません。

質問4 南西部こども園では、運動会をどこで行うのか。

回答4 園庭ではなく小学校で行うことになると思います。

質問5 認定こども園にする必要はあるのか。西保育所は建替えれば良いのではないか。神津こども園はうまくいっているのか。

回答5 働く保護者が増えており、認定こども園は保護者の就労状況に変わらずに入園してもらえるため、整備します。

質問6 預かり保育は有料なのか。

回答 6 現在は有料で考えていますが、国が、保育所に預けられず幼稚園に通う子どもの預かり保育料を無償化の対象として検討しています。預かり保育時間についても、国の指針が出ると思いますので、国に合わせて市も動くこととなります。

質問 7 第 1 回目の議事録に対する回答を見ると、自分達が決めた内容を通すための言い訳に聞こえる。地域でも子どもの声を聞かない。伊丹市としてまちづくり全体をどのように考えているのか。

回答 7 公立幼稚園の再編や 3 歳児保育、預かり保育は教育委員会が決めて計画しています。長年、1 校区 1 園で運営してきた良かったこともあります。子どもの教育内容を良くするため計画しているものです。

質問 8 昨年から説明会を実施しているが、説明会での意見を受け、計画は変わっているのか。

回答 8 通園問題については、自転車だけでなく市バスの補助制度を検討しています。また、必要物品についても通う園が変更となっても再購入の必要がないよう検討しています。

質問 9 通園距離はどのくらいが妥当なのか。

回答 9 他市では、1.2~1.5 km という地域もありますが、伊丹市では何キロが妥当であるのかという基準はありません。

質問 10 自転車通園を可として、265 人全員が南西部こども園に来るとすれば、自転車置き場はどうなるのか。近隣住民からの意見はあるのか。

回答 10 265 人の中には保育所部分の方もおられます。自転車置き場や駐車場は確保します。また、通園の道順指定やガードマンの配置、時間差登園等も検討します。

質問 11 南西部こども園の通園方法等は、いつ決定されるのか。決めてもらわないと園選択ができない。

回答 11 なるべく早く決定していきたいと思います。

質問 12 ささはら幼稚園の敷地に 265 名のこども園は難しいと思う。国が来年から無償化を実施するならば土地を売る必要もないため、こやのさと幼稚園等を残すことはできないのか。

回答 12 幼児教育の無償化を実施していなくても、今回の規模での統廃合は教

育委員会として実施する予定でした。

質問 13 南西部こども園は小規模でも良いのではないか。地震の時はどうするのか。

回答 13 Fブロックの4歳児はささはら7人、こやのさと13人、せつよう13人の33人のところ、南西部こども園は60人定員としています。5歳児は、ささはら22人、こやのさと24人、せつよう11人で、合計57人のところ、南西部こども園は70人定員としています。また、防災訓練や避難訓練を月に1度実施しています。子どもが何人であっても、教職員は安全に避難させます。

質問 14 無償化は何のために行うのか。公立幼稚園の子どもを増やすためではないのか。

回答 14 家庭事情に関わらず、幼稚園・保育所、公立・私立どこにでも入れるよう、すべての子どもに充実した幼児教育を受けてもらうために実施しています。

質問 15 小学校との連携はどのようなのか。

回答 15 小学校との接続は、公立幼稚園だけでなく、保育所や認定こども園、私立幼稚園の子どもにとっても大切な問題です。南西部こども園は、1番近い笹原小学校との連携になりますが、昆陽里小学校区の子どもは、1日入学や入学前健康診断で昆陽里小学校に行くことになります。また、小学校も就学前施設との接続を大切にしていることから、公私立、幼稚園・保育所にかかわらず、小学校区の子どもが集まれるような機会を考えています。

質問 16 私立幼稚園と公立幼稚園を比較して、保護者負担はどのくらい違うのか。

回答 16 私立幼稚園の保育料は、入園料込で全国平均が30万8千円（保育料25,700円/月）です。伊丹市においては、私立幼稚園が月額21,500円、公立幼稚園が平成29年度月額15,400円です。平成28年度より私立幼稚園との保育料の格差の是正で、公立幼稚園の保育料は私立幼稚園に段階的に合わせています。また、私立幼稚園は制服代、園バス代、給食費等がかかりますが、幼児教育の無償化の対象が、入園料や保育料も対象になるため、公立と私立の格差はなくなってきました。

質問 17 公立幼稚園の充実策を述べた上でのニーズ調査はいつ行われるのか。

回答 17 ニーズ調査は、子ども・子育て支援計画を定めるために、幼稚園や保育所、認定こども園に、どの程度のニーズがあるのかを調査するものです。実施時期は、今年の冬になります。

質問 18 幼児教育推進計画を実施するのかどうかを7月に決定するならば、ニーズ調査は意味がない。いつ廃園になるのかわからない。3歳児保育もまだ始まらないなか、公立幼稚園を希望する保護者は少ないのではないか。3歳児保育を来年4月から実施してはどうか。

回答 18 32年から3歳児保育を始めますが、公立幼稚園に入園できるか心配な声があります。そのためのニーズ調査の結果をみて、結果によっては3歳児の定員の検討が必要になると考えています。今は、保育所ニーズが高まっており、公立幼稚園の就園者数は減っています。もし、3歳児保育等を実施し公立幼稚園の希望者が増えたとしても、基礎児童数が減っているため、4・5歳児の公立幼稚園への入園は可能です。ただ、3歳児については、これまで実施したことがないため、ニーズ調査の結果によって判断します。

質問 19 交通面での調査はどうするのか。市バスに自分で乗れというのは余りにもひどくないか。

回答 19 市バス乗車については補助制度を設けることを検討しています。

質問 20 詳細が決まってから、説明会を進めてはどうか。

回答 20 閉園する園は決まっていますが、閉園時期が決まっていません。認定こども園の交通手段や用品、建物、運営面については、現場の先生方とワーキングチームを作り検討していますが、閉園時期が決まっていないため、先に進めない状況です。